

# アジア土木学協会連合協議会(ACECC)プロジェクト賞の受賞

2013年9月19日  
中日本高速道路株式会社  
定例記者会見 資料3

2012年4月14日に開通した新東名高速道路の建設事業が、アジア土木学協会連合協議会(ACECC)が主催のプロジェクト賞を受賞し、2013年8月21日のアジア土木技術国際会議において表彰されました。



表彰式の様子



表彰状

- 受賞名 世界をリードする次世代高速道路“新東名高速道路”の建設  
(Construction of a world-leading, next-generation expressway “The Shin-Tomei Expressway”)
- 受賞理由 新東名高速道路の建設事業として取り組んだ技術がアジア地域の土木技術の進歩と発展に顕著に貢献

◇アジア土木学協会連合協議会(ACECC)とは  
1999年に発足し、現在10ヶ国により構成。主たる役割は、アジア地域の土木学協会をコーディネートする  
連合組織として、アジア土木技術国際会議(Civil Engineering Conference in Asian Region ; CECAR)を継続的に主催するとともに、多国間連携のもと、アジア地域が抱える社会資本整備や土木技術に関する課題を討議し問題解決を図ること。

